

# すくすく のびのび いきいき

平成 25 年 7 月 第 2 号 発行：赤穂市教育委員会 ☎ 0791-43-6857

## 第二次 提言書を 受けて

### いじめ問題等再発防止に 係る第三者委員会 第二次提言

『家庭や学校は、明日を楽しみにできる場所であると同時に、課題や不安を抱えている子どもにとって頼れる場所であり、地域は、それを応援し、大人の確かな経験と幅広い見識で、子どもに厳しさと優しさを感じ取らせる役割を担って欲しい。』これは、昨年の事件後、緊急提言として提示された第一次提言の前書きの一部です。

また、『原因や背景を他者に求めるのではなく、それぞれが謙虚に自分を振り返り、子どもとの関わりを改善するなど、大人自身が変わる勇氣を持つことが大切です。』という指摘も受けました。

子どもの中には、自分だけでは解決できない課題を抱え、いろいろな思いを背負って登校し、また、下校していく子どももいます。多くの子どもを受け入れる学校は、一人一人の能力を生かし、伸ばし、互いに高め合う場であると同時に、一人一人の課題や思いを受け止め、子どもの成長と自立を支援し、心の安定を図

る場ではなくてはなりません。

この第二次提言は、子どもとの関わりにおいて、保護者や家庭、地域社会が、まず自分を振り返ること、子どもとの望ましい関わりへ改善していくことを通して、子どもの心の安定と非行防止につないでいくことが提言されています。内容は、子どもの成長や教育には当然のことばかりですが、できていないことや他人まかせにしていることが多いものです。今一度、振り返り、できることから行動を起こす必要を強く感じさせます。

さらに、保護者や家庭には、「心の安定と豊かな感情」「家庭と学校／連携と区別」「問題行動と向き合う」という観点で、保護者自身の自己点検を求めています。これ以外にも保護者や家庭の役割はありますが、まず、子どもが「帰りたい。」と思う家庭づくりが基本です。また、家庭と学校はしっかりと手を取り合いながらも、公私を区別し、家庭とは異なる学校や社会のマナーやルールを、子どもが小さい頃から学習させておく必要性も提言されています。

そして、地域社会は、学校や家庭では体験できないさまざまな活動をのびのびと展開できる場所と機会をつくるよう求めています。

地域には、さまざまな人生を歩み、多くの経験をし、いろいろな課題を解決し、子育てにも悩んできた「人生の先生」が、何十人、何百人とおられます。幅広い、奥の深い柔らかなふところ、子どもをしつかり包み込み、いろいろな観点から、子どもと関わることができるのは、地域の大人の大切な役割と捉えています。

私たち大人の言動は、子どもから注意深く観察されています。そして、子どもは、何が正しいか、何が間違いかを学習しています。子どもの課題は、大人社会の縮図と言われますが、大人社会の歪みを再現しているのが子ども社会なのではないでしょうか。

保護者や地域の大人は、厳しくも温かい関わりを大人の側から仕掛け、子どもの心をしっかりと見守ることが必要です。「できることから、大人から」を実現していきましょう。

◆第三者委員会議事録◆第一次提言◆第二次提言などは、赤穂市ホームページの「教育」関係サイトに掲載しています。

### 「いじめ・暴力追放市民大会」

平成二十五年八月十一日(日)

午後一時四十五分開会

赤穂市文化会館 小ホール

○昨年二学期から、学校園所は事件の再発防止を願い、さまざまな行動を展開しています。もちろん、子どもたちも自分たちができる「いじめ・暴力追放」の活動を積み上げ、学校の特色を生かした取組を進めています。この大会は、その一端を市民の方に知ってもらおうことで、地域の方と子どもとのつながりをより深め、地域社会全体で子どもの成長を支え、見守っていく新しいスタートになればと期待しています。

第62回

赤穂市民総合体育祭

第12回赤穂市小学生陸上競技大会  
市内全五・六年生が健脚を競う！



市内小学生五・六年生全員が自己記録に挑戦する「赤穂市小学生陸上競技大会」が、六月一日（土）城南緑地陸上競技場で開催されました。

当日は、各学年男女一〇〇m競走、ソフトボール投げ、学校対抗四×一〇〇mリレーが行われ、男子優秀選手賞に、勝本陸さん（御崎小六年）、横須賀倫太郎さん（塩屋小六年）、女子優秀選手賞に、池坂ちひろさん（原小六年）、

大村悠里さん（尾崎小六年）が選ばれました。

「十三秒台を出して優勝したかったので、ちょっと悔しいです。秋の大会では、十三秒台で優勝できるような気がします。」（六年男子一〇〇m優勝者 勝本陸さん）

「五〇m投げられたので、よかったです。」（六年男子ソフトボール投げ優勝者 横須賀倫太郎さん）

「予選の記録より、決勝の記録が三mも伸びたのでよかったです。」（六年男子ソフトボール投げ優勝者 松本昌大さん）

「二年連続で優勝できて嬉しいです。秋の大会では、十四秒台で走って優勝したいです。」（六年女子一〇〇m優勝者 池坂ちひろさん）

「四〇m投げれて嬉しかったです。」（六年女子ソフトボール投げ優勝者 大村悠里さん）  
大会成績は、次のとおりです。

【男子6年の部】		【女子6年の部】	
100m	①勝本 陸（御崎） 14秒0 ②森本 涼（塩屋） 14秒1 ③小笠原 諒（赤穂） 14秒3	100m	①池坂ちひろ（原） 15秒1 ②松崎真理香（赤穂西） 15秒2 ③土手 愛心（塩屋） 15秒3
ソフトボール投げ	①横須賀倫太郎（塩屋） 50m08 ①松本 昌大（赤穂西） 50m08 ③結城 寿蓮（御崎） 48m71	ソフトボール投げ	①大村 悠里（尾崎） 42m26 ②山下 美月（赤穂西） 39m68 ③池坂ちひろ（原） 38m75
4×100mR	①御崎（木下・吉川・結城・勝本） 58秒5 ②赤穂（谷・淵本・中田・小笠原） 58秒8 ③尾崎（久田・山口・川口・團） 60秒1 ③城西（山澤・三村・小林・松本） 60秒1	4×100mR	①塩屋（三宅・西本・土手・佐井） 61秒2 ②尾崎（鈴木・西中・澁谷・山野） 62秒5 ③赤穂（木村・一瀬・松本・坂本） 62秒8
【男子5年の部】		【女子5年の部】	
100m	①中村 裕人（赤穂西） 14秒9 ②勝間 拓帆（御崎） 15秒0 ③伊東 幸星（城西） 15秒1	100m	①丸尾 明代（塩屋） 15秒4 ②岡本 朔来（高雄） 15秒5 ③船本 愛子（赤穂） 15秒9
ソフトボール投げ	①竹内 大輔（塩屋） 45m18 ②高田 尚貴（赤穂） 43m31 ③小林 樹（尾崎） 42m93	ソフトボール投げ	①宮本 暖花（塩屋） 36m45 ②岡本 朔来（高雄） 34m95 ③上山美乃里（有年） 34m92
4×100mR	①塩屋（今井・竹内・亀井・永江） 62秒4 ②城西（伊東・河野・山本・松川） 62秒6 ②御崎（松本・清水・平井・勝間） 62秒6	4×100mR	①塩屋（竹本・丸尾・高原・松尾） 62秒3 ②尾崎（坂越・萬代・葛島・西田） 65秒4 ③赤穂（岸田・東南・川島・桃井） 66秒1 ③高雄（米口・杉浦・川本・岡本） 66秒1

第3回赤穂シティマラソン大会

今年は、11月10日開催！

第3回赤穂シティマラソン大会は、6月10日から受け付けを開始しましたが、 HALFマラソンの部は、募集定員に達したため、7月10日をもって受け付けを終了いたしました。

なお、10km、5km、3km、2kmの部については、引き続きエントリーを受け付けていますので、参加をご希望される方は、お早めにお申し込みください。

開催日は11月10日（日）※小雨決行。城南緑地陸上競技場を発着点に、 HALFマラソン、10km、5km、3km（中学生）、2km（小学生、ファミリー、車イス）の5コースで実施いたします。 HALFマラソンの部は、赤穂御崎温泉街、赤穂海浜公園内を駆け抜けるコースとなり、前回よりも変化に富んだ景色を楽しめるコースとなりました。

種目別に10位まで表彰し、3位までトロフィーを授与。 HALFマラソンの男女別総合優勝者を「スポニチ山中湖ロードレース」へ派遣いたします。 またゲストランナーには、ロンドン五輪女子マラソン日本代表の尾崎好美さん（第一生命）をお招きします。

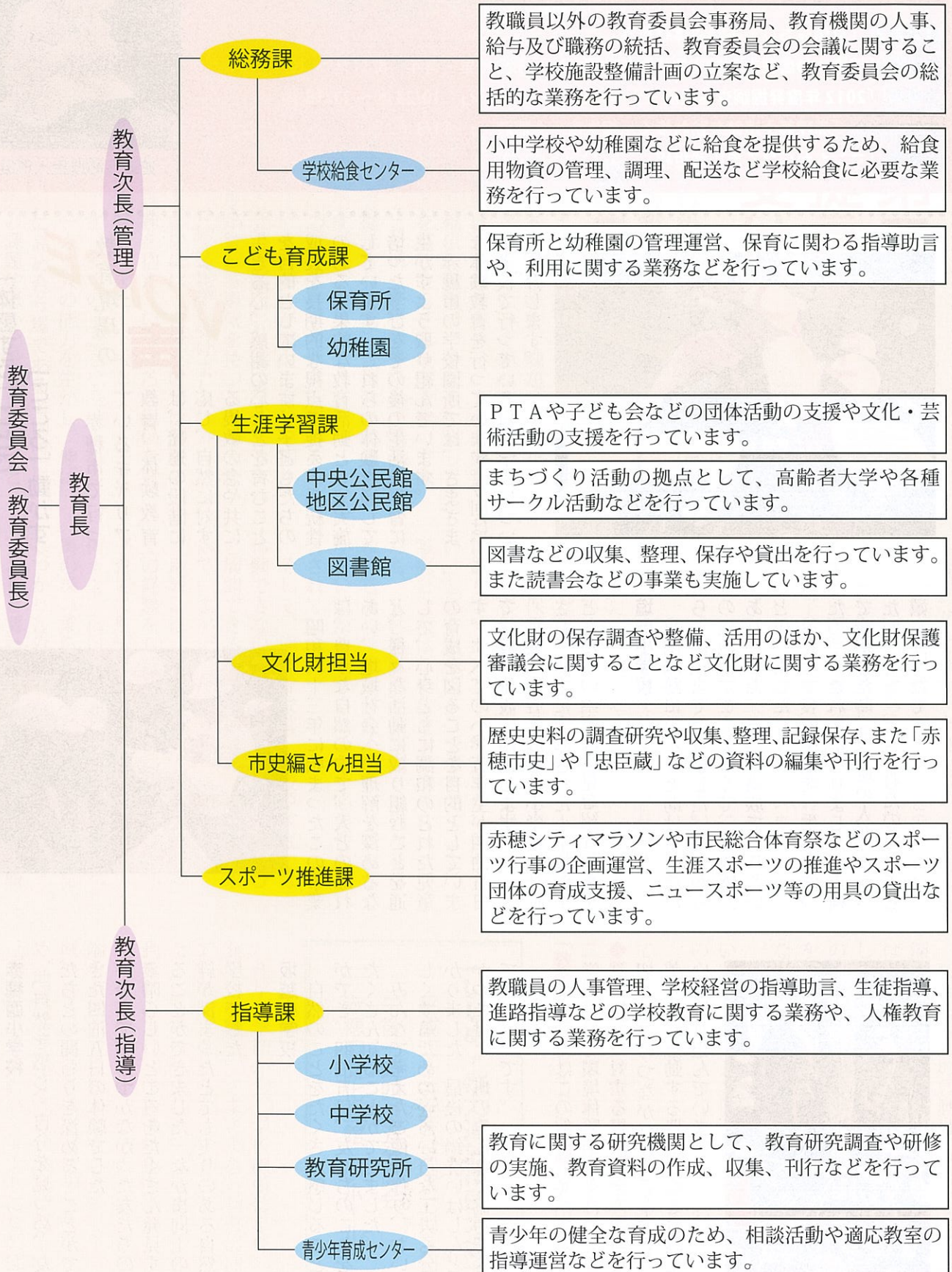
是非、市民のみなさんにも多く参加していただき、全国各地から訪れるランナーと大会を楽しんではいかがでしょうか。



尾崎好美さん。神奈川県出身。2009年世界陸上ベルリン大会銀メダリスト、2012年ロンドンオリンピック代表。

# 赤穂市教育委員会の組織、担当事務

教育委員会って、どんなことをしているの？教育委員会の組織と、仕事の内容を紹介します。



## 教育委員会イベントガイド

◆有年考古館◆

**特別企画展** 「日本製塩技術史の父—廣山堯道文学博士—

～郷土文化と歩んだ足跡をたどる～」好評開催中 8/19(月)まで

**体験教室** 「夏休みちびっ子特別体験教室」7/20(土)～7/28(日)

**特別展** 「渡辺うめ農民人形展—あぜみちの詩」in しづらの里・有年 8/31(土)～10/14(月)

**企画展** 「2012年度発掘調査速報展—土中からのメッセージ」10/23(水)～11/18(月)

**史跡探訪会** 「赤穂義士遺跡を訪ね歩く—相生市・上郡町—」11/3(日)

**企画展** 「マンガから見る忠臣蔵世相」11/22(金)～12/23(月)



渡辺うめ農民人形展

### 「体感型」学習

### 「JUN」動かす

## 教育現場の VOICE 声

赤穂市で行っているキャリア教育、体験教育は、発達の段階に応じ、自然に対する畏敬の念や共に

生きる心、感謝の心などを育むことを目的としています。子どもたちの成長を長期的な視点で捉え、系統性のある効果的な教育活動として実施しています。これらの体験を通して培った学びをその後の生活や学習に生かすよう取り組んでいます。

赤穂市の学校園所では、さまざまな体験教育を行っています。今回は、小学校で行っている自然学校について紹介します。



昭和六十三年に始まったこの事業は、豊かな自然の中で、人とのふれあい、地域社会への理解を深めるなど、様々な活動に取り組みを通して、心身ともに調和のとれた児童の育成を図ることを目的としています。すべての小学五年生が四泊五日で学校外施設で活動します。

平成二十五年度も各小学校で計画され、すでに実施された小学校の子どもたちの素直な意見を紹介します。

#### 塩屋小学校

竹田城跡にみんなと助け合いながら、山頂まで登りました。そこからの景色はすごく美しく、達成感がありました。また、家族で登りたいと思いました。

みんなで食器や鍋を一生懸命洗ったので、きれいになりました。点検で合格した時、他の班の人が「よかったね。」と言ってくれたのでとても嬉しかったです。

#### 赤穂西小学校

「自然を感じ、自分を見つめ、友だちとの関わりを深める」ことができた四泊五日の体験でした。

今まで気がつかなかった友だちの素晴らしいところをたくさん発見することができました。なかま同士の絆が深まったとても実りのある自然学校でした。

#### 坂越小学校

自然のことをたくさん感じることができ、四泊五日、友だちのことをたくさん知ることができました。

みんなで考えたご飯を作り、おいしくするためのいろいろな工夫も分かりました。最後の鍋洗いはしんどかったけど、班のみんなで協力できて良かったです。

小学校ではこの他に、すべての小学三年生で環境体験学習を行っており、自然に対する畏敬の念、命の大切さ、命のつながりなどを実感し、美しさに感動する豊かな心を育みたいと取り組んでいます。

